

## 第 9 回若年者ものづくり競技大会

### 電気工事職種 概要

#### 1. 競技内容について

- (1) 公表されている平成 26 年度第二種電気工事士技能試験問題 (No.1～No.13) を参考にし、開催地山形県のシンボルである「サクランボ」と「ベニバナ」をイメージした課題とした。
- (2) 競技時間は 3 時間 (標準とする時間 2 時間 30 分) とする。なお、熱中症対策の休憩時間については別途検討する。
- (3) 競技は設備された木製板 (立面パネル) 上に配線工事を行う。
- (4) 競技課題内容は、別紙公表競技課題を参照のこと。

#### 2. 競技参加者が持参するものについて

- (1) 競技課題施工に必要な一切の工具および測定器。  
特に金属管工事 (切断および曲げ加工) があるので必要な工具を準備すること。
- (2) 筆記用具、計算機。
- (3) 作業用シート・清掃用具。
- (4) 基本工具等については、別紙一覧表を参照のこと。

#### 3. 服装・工具・治具についての制限について

- (1) 服装
  - ・屋内配線工事にふさわしい作業衣を着用すること。
  - ・ヘルメットの着用は問わないが帽子は必ず着用して下さい。安全靴は着用が望ましい。
- (2) 工具
  - ・レーザー光を用いた墨だし等の工具は、万一の誤照射に備え使用を禁止する。
  - ・電池式電動工具の使用は可とする。商用電源を用いた電動工具の使用は不可とする。
  - ・電線管に電線を入線するときに用いるビニルテープは工具扱いとする。
  - ・競技開始後、工具に不具合が生じた場合は競技委員に申し出て指示を受けること。
- (3) 治具
  - ・ケーブル、管路の曲げ半径確認用治具は可とする (ビス・両面テープ等で固定するタイプは不可。 )。
  - ・ボックス、サドル、器具等の取付位置用の寸法治具は可とする (ビス・両面テープ等で固定するタイプは不可。 )。ただし、A 4 サイズ (+10mm 以内) 3 枚までとする。
  - ・競技課題寸法位置に穴あけやマーキングしたスケール (メジャー) および莫迦棒 (課題寸法位置のみをマーキングしたスケール代用品) は不可とする。スケール (メジャー) への穴あけは 2 箇所限定する。
  - ・配線用遮断器取付用の枠など型抜きした治具は不可とする。

- ・その他、競技者が持込んだ治具を確認して使用の可否を判断する場合もある。(疑わしい治具は事前に協会に問い合わせること。)

#### 4. 設備基準（競技場に準備してあるもの）について

移動式作業板（別紙「競技パネル仕様」を参照）1 台の両面を競技者 2 名で使用する。

- ・仕様 パネルの左右は固定するための枠（C型鋼）があり、スケールの先端金具を引っ掛けて測定することが困難である。  
また、移動式のためパネル下部に約 150 mm の隙間がある。

#### 5. 競技課題について

- (1) 公平を期するため公表競技課題は持ち込みを禁止（加工寸法、回路図等も持ち込み禁止）とする。  
修正競技課題は競技当日配布する。
- (2) 公表競技課題には競技当日抽選により決定する事項がある。それ以外についても 20% を限度に変更される可能性がある（レイアウトなど）。

#### 6. 審査について

##### 1. 採点方法

持ち点 100 点からの減点法で行う。

##### 2. 採点項目

- (1) 法令等の遵守 関係法令等に適合の有無を採点する。
  - ①配管 管とボックスとの接続、支持方法、曲げ半径等
  - ②ケーブル 支持方法、曲げ半径等
  - ③電線 相互の接続状態、器具への接続状態等
- (2) 基本事項 競技課題との相違の有無を採点する。
  - ①誤結線 課題の説明どおりに動作しないもの
  - ②課題相違 課題の説明および課題図に従って施工していないもの
  - ③寸法 課題図に指示した寸法との誤差が多いもの
- (3) 作業時間 作業時間について採点する。標準時間を超えて作業を行った場合は超過時間に  
応じて減点される。
- (4) 一般事項 追加材料等について採点する。
- (5) 出来栄え 完成品の仕上がりについて採点する。
- (6) 未落 競技時間内に完成しないものを未落とする。
- (7) その他 競技委員および補佐員が協議して行う。

# 競技パネル仕様

別紙

(シナベニヤ 910×1,820×12mm 縦または横2枚張り 両面)

有効寸法

